

今月の
トピックス

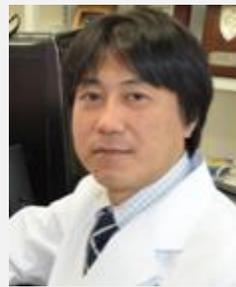
JCOG2209 脳腫瘍グループ 新規試験

脳腫瘍グループの新しい試験であるJCOG2209「テント上初発膠芽腫に対する造影病変全切除術と造影病変全切除+FLAIR高信号病変可及的切除術とのランダム化第III相試験 (FLAMINGO)」が承認され間もなく登録開始となります。

コンセプト作成段階よりご支援・ご協力を頂いたグループの先生方、JCOGデータセンター・運営事務局の皆様、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

本試験の対象疾患である「膠芽腫」は、人口10万人あたり年間1-2人発症する稀少がんです。生存期間中央値は14.6か月と極めて予後不良にもかかわらず、標準治療とされる治療薬は「テモゾロミド」のみという治療困難な疾患でもあります。脳には血液脳関門があり薬剤開発は容易でなく、テモゾロミドは2005年から本邦で使用開始となりましたが、2023年の本年に至るまで、第III相試験で初発膠芽腫に対して有効とされる新たな薬剤は出現していません。

本試験は、膠芽腫に対する薬剤ではなく、手術手技の試験になります。これまで膠芽腫に対する摘出の対象は、MRI画像におけるガドリニウム造影剤を用いて増強効果を呈する病変、すなわち「造影病変」とされていました。



研究代表者 園田順彦



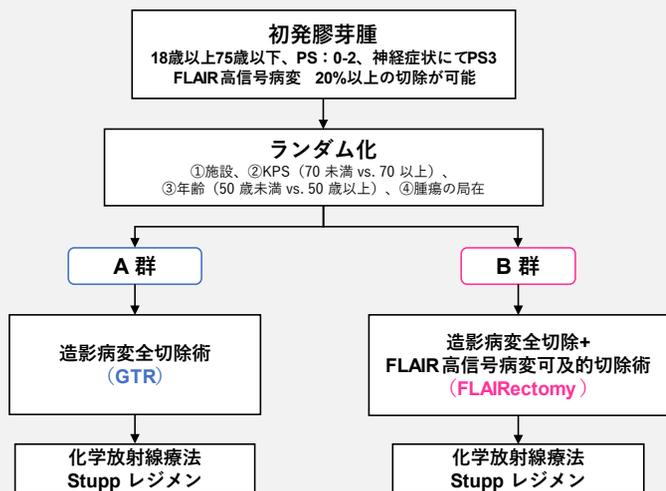
研究事務局 柴原一陽

しかしながら、近年の後方視的研究において、造影病変周囲に存在するMRI FLAIR画像における高信号病変を、造影病変に加えて合併摘出すること (FLAIRectomy) が生存期間延長に寄与するという報告が散見されます。病理学的に膠芽腫の造影病変周囲にも腫瘍細胞が浸潤していることは、以前よりよく知られていましたが、この浸潤領域に対しては主に放射線治療が行われていました。これまで浸潤領域の摘出 (FLAIRectomy) が行われなかった背景には、脳は機能を有しているために、「広く摘出することは脳機能を失うこと」と考えられていたためです。しかし、昨今の脳神経外科領域における画像解析・脳解剖の理解・外科技術進歩により、「FLAIRectomyの適応患者を術前に適切に判断しFLAIRectomyを安全に実施すること」、が実臨床で行えるようになりました。すなわち、機が熟して、今この時代だからこそ行える試験とも言えます。

国外含め、FLAIRectomyに対する前向き臨床試験はありません。さらに、FLAIR領域すべてを摘出できる患者は非常に少なく、どの程度FLAIR領域を摘出すればよいのか、FLAIR領域を部分的に摘出することに意味があるのか、など手術による膠芽腫治療には課題があります。

本試験で、膠芽腫に対する最適な摘出範囲を明らかにすることは、患者さんへの治療効果に貢献することに加えて、膠芽腫の病態解明においても重要な知見となります。試験の完遂と成功には皆様のご指導、ご協力が不可欠です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

研究代表者 山形大学医学部附属病院 園田順彦
研究事務局 北里大学病院 柴原一陽



今月の
トピックス

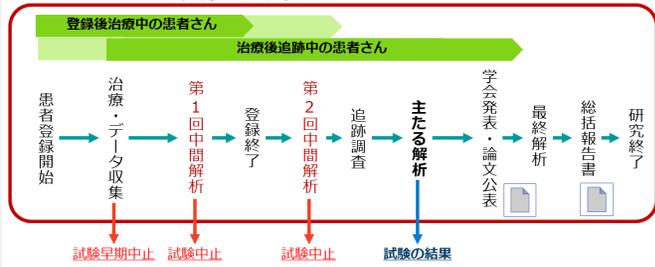
JCOG患者市民セミナー アドバンス編を開催しました

3月4日に開催した第6回JCOG患者市民セミナー(アドバンス編)では、JCOGでの患者市民参画を今後さらに深め、広げていくことを目的として、これまでにJCOG患者市民セミナーへの参加経験がある方50名にご参加いただいて開催しました。

今回のテーマは、「臨床試験の科学性と倫理性を保つ仕組み」として、5つの講義が行われました。セミナーの概要をHPに掲載しました。

<http://www.jcog.jp/general/ppic/seminar20230304.html>

JCOG試験の流れ



今月の
トピックス

プレスリリース JCOG1211(肺がん外科グループ)

「胸部薄切CT 所見に基づくすりガラス影優位のcT1N0 肺癌に対する区域切除の非ランダム化検証的試験」

https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2023/0327/index.html

JCOG研究に関わる研究結果やイベント情報など最新情報を発信しますので、ぜひフォローしてくださいね！

Twitter ユーザーネーム: @JCOG_official URL: https://twitter.com/JCOG_official/

Facebook ページ URL: https://www.facebook.com/JCOG_official

JCOGウェブサイトの[トップページ](#)のパナーからも関連ページへアクセスいただけます。



JCOG研究の論文公表



◇ 骨軟部腫瘍グループ JCOG1802デザインペーパー 遠藤 誠 先生
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/36890471/>

Protocol for the 2ND-STEP study, Japan Clinical Oncology Group study JCOG1802: a randomized phase II trial of second-line treatment for advanced soft tissue sarcoma comparing trabectedin, eribulin and pazopanib BMC Cancer, 2023 Mar 8

◇ 肺がん外科グループ JCOG1211 青景 圭樹 先生
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/36893780/>

Segmentectomy for ground-glass-dominant lung cancer with a tumour diameter of 3 cm or less including ground-glass opacity (JCOG1211): a multicentre, single-arm, confirmatory, phase 3 trial. The Lancet Respiratory Medicine, 2023 Mar 6, Online ahead of print

◇ 胃がんグループ JCOG0912S1 秋山 有史 先生
<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/36867237/>

Frequency of lymph node metastasis according to tumor location in clinical T1 early gastric cancer: supplementary analysis of the Japan Clinical Oncology Group study (JCOG0912) Journal of Gastroenterology, 2023 Mar 3, Online ahead of print

担当医別月間登録数



◇ 肺がん内科グループ(月間登録数:2)

堀之内秀仁先生/国立がん研究センター中央病院
 井上貴子先生/大阪国際がんセンター
 守田 亮先生/秋田厚生医療センター
 澤 兼士先生/大阪公立大学医学部附属病院

◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:3)

牧 佑歩先生/広島市立広島市民病院
 宮田義浩先生/広島大学病院
 渡辺俊一先生/国立がん研究センター中央病院
 多根健太先生/国立がん研究センター東病院

◇ 胃がんグループ(月間登録数:5)

木下敬弘先生/国立がん研究センター東病院

◇ 食道がんグループ(月間登録数:3)

竹内裕也先生/浜松医科大学

◇ 乳がんグループ(月間登録数:3)

北原美由紀先生/茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

◇ リンパ腫グループ(月間登録数:2)

高橋直樹先生/埼玉医科大学国際医療センター

◇ 大腸がんグループ(月間登録数:5)

安井昌義先生/大阪国際がんセンター
 古谷晃伸先生/兵庫県立がんセンター

◇ 脳腫瘍グループ(月間登録数:2)

木下 学先生/旭川医科大学

◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:3)

白川博文先生/栃木県立がんセンター
 寺島健志先生/金沢大学医学部
 亀井敬子先生/近畿大学病院

◇ 頭頸部がんグループ(月間登録数:2)

藤井 隆先生/大阪国際がんセンター

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	1月	2月	3月	合計
大腸がん	101	89	113	303
肺がん外科	45	56	49	150
胃がん	49	36	51	136
肝胆膵	35	52	33	120
肺がん内科	26	24	33	83
乳がん	18	22	16	56
食道がん	19	15	19	53
リンパ腫	9	21	15	45
頭頸部がん	7	11	18	36
放射線治療	10	6	15	31
消化器内視鏡	7	6	11	24
脳腫瘍	6	5	7	18
皮膚腫瘍	6	5	4	15
骨軟部腫瘍	9	3	2	14
泌尿器科腫瘍	0	2	1	3
婦人科腫瘍	0	0	0	0
合計	347	353	387	1087



JCOGデータセンターより

● 2023年3月の登録例は387例でした。

3月は15グループから登録があり、JCOGの月間最高登録例数を達成しました。グループ別では大腸がんグループが100例を、胃がんグループが月間50例を超えています。たくさんの登録ありがとうございました。

